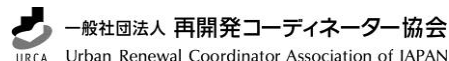


平成31年度 第1回 技術研究会



「都市再開発事業等と連動したエリアマネジメント」

再開発事業は施設建築物が完成すれば終了と思われがちですが、完成後もまちの維持管理運営・まちを育てていくという観点に立ち、エリアマネジメントに力を入れること、さらに再開発事業周辺市街地も含めたエリア全体の価値向上に資する取り組みが重要です。

昨今では、開発協議にあたり公共貢献の1つとしてエリアマネジメントについて指導されることも見受けられます。こうしたことから、計画づくりの段階からエリアマネジメントのあり方について検討し、完成後に再開発事業周辺エリアも含めたまち全体を適切に維持管理運営していくための組織づくり、活動、人や財源の確保が欠かせません。

また、東京都心部の大丸有地区や札幌駅前通・大通地区等、都市再開発事業等と一体となったエリアマネジメントの事例が多数蓄積されつつある一方、都市再生推進法人制度や地域再生法改正による地域再生エリアマネジメント負担金制度の創設など、エリアマネジメントを支援する制度も拡充されつつあります。

研究会では、民間都市再開発事業等においてエリアマネジメントを実践している先導的地区の実務担当者をお招きし、都市再開発事業等と連動してエリア価値を高めるためのエリアマネジメントの実践方策と課題への対応について具体の事例をもとに解説します。

このテーマを通じて、エリアマネジメントの重要性に対する認識が深まり、再開発事業等の新たな公共貢献要素として定着するとともに、再開発事業をはじめとした都市開発事業等において効果的なエリアマネジメントがより一層促進されることを期待します。

◇ 内 容

1. エリアマネジメントを後押しする仕組み・事例から見える課題と展望
 - ①都市再生推進法人制度・地域再生エリアマネジメント負担金制度・道路占用許可等の仕組み
 - ②エリアマネジメントの先導的事例の分析、エリアマネジメントの普及展開に向けた課題の整理
2. 官民連携による都市再開発事業等と連動したエリアマネジメントの先進事例から成功の要因と課題を探る
 - ①地方中枢都市の都心再構築に大きく寄与するエリアマネジメント（札幌駅前通地区・大通地区）
 - ②都市再開発事業等と一体的に運用するエリアマネジメント（新虎通り周辺地区）
3. 民間主導型再開発事業等と連動した効果的なエリアマネジメント推進方策（パネルディスカッション）

◇ 講 師

札幌大通まちづくり株式会社 取締役 統括部長 服部 彰治氏
一般社団法人新虎通りエリアマネジメント 事務局長 赤坂 香里氏
株式会社都市設計連合 都市再生本部 事業コンサルタント第3部長 執行役員 細井 拓也氏

(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 副委員長

◇ コーディネーター

森ビル都市企画株式会社 調査企画部 部長補佐 三輪 恭之氏
(一社)再開発コーディネーター協会 事業企画委員会 委員

日 時 : 平成31年5月21日(火) 14:00 ~ 17:00
場 所 : 一般社団法人 再開発コーディネーター協会会議室
東京都港区芝2-3-3 芝二丁目大門ビルディング 7階
定 員 : 約50名 (会場地図はホームページをご覧ください <http://www.urca.or.jp/>)

参加費 : 15,000円(会員は13,000円) 当日受付でお支払いください。

申込方法 : 下記申込欄にご記入のうえ、FAXにてお申し込み下さい。

FAX 03-3454-3015 電話 03-6400-0262

平成31年度 第1回 技術研究会 申込書 [平成31年5月21日(火)開催]

会社名 _____ 電話 _____

住所(〒 _____)

参加者名(1.個人会員(正・賛助) 2.法人会員(正・賛助) 3.一般)

所 属・役 職 名	氏 名	連絡先メールアドレス